

「初のホームカミングデーを終えて」

令和4年7月9日、久しぶりに看護学科・助産学科の卒業生が、元気な姿を見せてくれました。今回は初めての試みでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からオンライン開催となりました。お互い久しぶりの再会で、最初は緊張したようでしたが、すぐにリラックスした表情で、近況を語ってくれました。業務に慣れず、気づくと勤務時間が終わっていることもあるくらい忙しい毎日の中で、しんどいと思うこともあるようですが、患者さんの励ましの言葉に支えられ、頑張ることができているとのことでした。また、後輩たちには、解剖生理を理解しておく大切さや看護技術を繰り返し練習しておく必要性を伝えたいともっていました。ホームカミングデーに参加して、慣れない環境の中で大変なことも多いですが、自分だけがしんどいのではないと分かり、明日からも頑張ろうと力をもらえる時間となったようでした。今後も、教育理念である「博愛」「叡智」「自律」を基盤とした看護師・助産師の育成を目指して、教育の質を高めていきたいと感じました。



オンラインによるホームカミングデーの様子